

お茶大での交換留学

政治大学
リヒンシン

桜の盛りの四月上旬から暑さが身にこたえる七月末まで、私はお茶の水女子大学で非常に充実した初学期を過ごしました。

—学業—

この学期、私は8つの授業を履修しました。自分の日本語能力に自信が持てなかったため、主に留学生向けの授業を選びました。

例えば、荻原章子先生の『日本事情演習Ⅲ』では、日本の企業文化や就職の技巧などについて探求しました。非常に実践的で収穫の多い授業でした。また、王一瓊先生の『日本事情演習Ⅱ』では、伝統的から流行のテーマまで、日本の文化を俯瞰的に学びました。週ごとにグループディスカッションも行い、異なる国の学生たちが同じテーマについて異なる視点や習慣を持ち寄り、素晴らしいアイデアが交わされました。

さらに、学部の授業も聴講しました。日本語学科の谷口幸代先生の『日本文学論講読Ⅳ』という授業です。今学期は二葉亭四迷の作品『浮雲』を取り上げました。私は以前この作品を知りませんでした。この授業を通じて台湾の学生があまり知られていないクラシックな作品を学び、明治時代の文学スタイルに触れることができるととても嬉しかったです。

正規の授業以外にも、お茶大では様々な体験教室も開かれています。茶道、書道、生け花、着物などがあります。私が特に好きだったのは生け花体験です。小原流の先生から主枝と客枝の配置方法を学び、自分の作品を完成させることができました。体験が終わった後も花材を持ち帰り、自分で飾ることができました。



—生活—

私はお茶大のキャンパス内にある学生寮「音羽館」に住んでいます。音羽館は去年オープンしたばかりの新しい寮で、設備が非常に新しく整っています。各部屋に

はバスルームと小さなキッチンがあり、共用施設も充実しています。お茶大と音羽館のスタッフには留学生にとって非常に快適な居住環境を提供してくれたことに感謝しています。

学校周辺の生活環境も便利です。近くにはスーパーやコンビニ、ドラッグストアなどがたくさんあります。私はよく食材を買い込んで寮で料理をすることがありました。留学期間中に私が向上させたのは日本語能力だけでなく、料理の腕も向上したことに驚きました！また、学校から最寄りの駅までも遠くなく、お茶大は丸ノ内線上に位置しているため、東京の主要な繁華街や観光地への交通アクセスも非常に便利です。

—旅行—

学期中、東京都内だけでなく、金沢や大阪、京都、そして伊豆半島などの他の県外の旅行も行きました。それぞれの都市には異なる雰囲気があります。過去に写真や文章でしか知らなかった場所が、実際に目の前に現れました。旅の途中で多くの地元の人々と出会い、彼らは親しみを持って日本を紹介してくれたり、台湾を訪れたことがあると話したり、台湾の友人がいると言ってくれたりして、私はとても温かい気持ちになりました。



—感謝—

留学生活にお世話になった方々に感謝を伝えたいと思います。

すべての先生方の教えに感謝します。特に、私の指導教師の谷口幸代先生には本当に感謝しています。先生はとても優しく私の適応状況を尋ねてくれました。谷口先生の学生になれたことは本当に素晴らしいことです。

国際教育センターの先生方に感謝します。特に、萩原章子先生やAAの永田さん、イさんは学生たちの学業や生活の細かいことまでお手伝いくださり、毎週のHomeroom時間に交換留学生に様々な情報と心配りをしてくださいました。また、

大野矩子先生に入学手続きや入国手続きなどを手伝ってくださったことに感謝します。

私のチューターの和田里佳子さんにも感謝します。和田さんは郵便局で口座を開く手伝いをしてくれるだけでなく、有名な和菓子お店へも連れて行ってくれ、その日は楽しい午後を過ごすことができました。

最後に、この時間に出会ったすべての人々に感謝します。七月末に隅田川花火大会に参加し、花火が一つ一つ夜空を照らし、新しい時間の軸に星が輝いているようでした。これからの半年間がどんな経験と知識をもたらすか楽しみにしています。